



# 新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございませす。本年も何卒ご支援賜りますようお願い申し上げます。

# ひだまり

発行所  
**聖愛園**  
 〒519-2211  
 三重県多気郡  
 多気町丹生4701  
 TEL 0598-49-3115  
 FAX 0598-49-3783

聖愛園は昨年三月新体系に移行しました。それに至るまでの準備期間として約一年間、調査研究を重ね多くのエネルギーを費やしたのでございます。

昨年八月、政権交代が実現し、障害者自立支援法を廃止して、利用者の応能負担を基本とする総合的な制度をつくることとしています。新たな制度を創設するには相当の期間を必要とするために、本年四月からそれまでの間、低所得1・2に該当する障がい者の利用者負担を無料とし、その分の額を補足給付の額から減額しないことになっていますが、結果としてどういうことになるのでしょうか。利用者にとって幾分有利になるものと思われませんが、それに伴い、受給者証の更新や、請求事務の修正等事務作業も必要になると思われまますので、これまた頭痛の種になります。いずれに致しましても、僅かな期間に制度の改廃を繰り返すことなく長期的展望に立った制度を早急に確立していただきたいものです。利用者にとりましては支援する側にとってもたまったものではありません。

さて、年の初めにあたりまして、職員に次のように訓示致しました。

一、利用者さんに対する呼称を、基本

的に「〇〇さん」づけにする。

二、障がいを持たれた方の人権、利用者さんに対する支援のあり方について、調査研究を深める。

長年、支援を続けていくうちに、世間で通用しないような事が行われているか。当たり前のことが当たり前になくなってきているような事はないか等疑問になってきます。

こうしたことを、職員間でチェックし正しい支援の在り方を会得していくよう努力をしまっている所存でございます。

障害者自立支援法は廃止になるようございますが、第一条の目的の中に、障害の有無にかかわらず、国民が相互に人格と個性を尊重し、安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与する。とあります。

利用者の人権を尊重する、また職員間の人間関係も大事です。

○常に相手の立場になって考えてみる。

○常に人の心を理解する。

○常に人のために限りなき優しい心。

人に優しい施設運営を目指していきたいと思えます。

最後に、利用者の皆様、保護者の皆様、聖愛園に関係する皆様様のご健康とご多幸を祈念申し上げます。

聖愛園施設長 戸野和雄

## 研修委員より

### 平成二十一年度研修報告

今年度の職員研修は施設外の様々な研修会に出来るだけ多くの職員が参加出来る様努めてきました。

毎年、福祉協会の主催で開かれる福祉全国大会には聖愛園からは今まで参加がありませんでしたが、念願叶い今年度開かれた広島県での大会に職員を代表して生活支援員一名が参加致しました。三日間に渡って開催される全国大会では全国レベルで活躍する多種多様な経歴の方々から講演やシンポジウム講義といった形でお話を聞く事ができ、大変有意義な時間になったと思えます。

しかし、研修で得たものを施設に持ち帰って職員全体にしっかりと還元出来ているかという点必ずしもそうではない部分があり、これが今後の課題であると思っております。研修報告書を読覧しやすいように見やすくファイリングする等工夫もしてありますが、やはり第一は自分を向上させたいという気持ちを持つ事、積極的に学ぼうとする姿勢を持つ事が大事であると思えます。

貴重な時間を使って参加する研修ですから、「行って終わり」ではなく、職員全員が学ぶ気持ちを共有して次へ繋がるものにしていかねばならないと考えています。

研修担当

支援部主任 押谷葉子

# 第11回 聖愛園クリスマス会



## 聖愛園の巨大ツリー

平成二〇年のクリスマス会から登場した高さ3M強の職員手づくりの巨大ツリーです！



玄関に飾られクリスマスツリーを盛り上げました。

12月13日  
盛大に開催!



平成二十一年度のクリスマス会を十二月十三日(日)に開催致しました。プログラム内容は利用者さん全員参加でのクリスマスソングの合唱・合奏、そして練習に励んだ赤鼻のトナカイの振り付け踊りをしました。保護者の皆さんと一緒に参加するゲームでは一緒に考え、楽しそうに参加されていたと思います。

## 生演奏に感動!



やはり印象深かったのは、今年もボランティアで協力して頂いた伊勢シンフォニックバンドの生演奏ではないでしょうか。普段なかなか聞ける事の出来ない「生の楽器の演奏」は迫力があり利用者さん保護者の皆さんを始め職員一同が聞き入っていました。

クリスマスケーキを食べた後は恒例のサンタクロースによるプレゼントです。利用者さん一人ひとりへプレゼントを手渡ししました。最後には再度シンフォニックバンド演奏による「きよしこの夜」を参加の皆さん全員で合唱し終了となりました。

した。今年も無事にクリスマス会を終える事ができ嬉しく思います。ご協力頂いた伊勢シンフォニックバンドの皆様、保護者の皆様ありがとうございました。



生活支援員 弓木昭人

## 厨房より



恒例の誕生会給食

今年もよろしくお祝い致します。

今年も厨房では衛生管理はもちろん安心・安全な食材と季節の野菜を取り入れた一品一品に愛情を込めて提供していきます。

## 福は内

インフルエンザは聖愛園の外

調理員

栗谷幸子



# 医務室より

毎年五月と十一月に松阪医師会健診センターにより、利用者の方全員の健康診断を実施しています。

五月は胸部レントゲン・血液検査（内容は健康診断の基本メニューとなっています）・検尿・血圧測定・四〇歳以上の方にはメタボ健診として腹囲測定があります。

十一月は血液検査（基本メニューにプラスして癌胎児性抗原と言つて、種類は特定できませんが癌の存在を示唆するマーカーを調べてもらいます。ただし、あくまでも一つの目安であり、陽性だから癌というものでもありません。）・検尿・血圧測定となつています。

健康診断を二回行つていれば、一〇〇％病気を予防出来るという事ではあ

# 収穫祭

梅雨の合間をぬつて八本の畦に植えられたサツマイモの苗は、夏の日差しを受けてすくすくと成長し、ツルが畑からはみ出すまでになりまし。それに伴つて発生する雑草もなかなかのもので、皆さん額に汗しながら雑草取りをがんばりました。

去る、十一月中旬よりサツマイモの収穫が三回に分けて行われました。

いよいよ収穫の日。どんなサツマイモが出来ているかと期待しながら、試みに二畦だけ収穫する事にしましたが、サツマイモを傷つけないように周りの土を手でどけながら引つ張ると、大きなイモが次々と顔を出しました。大きなイモが収穫される度に誇らしげに周りにアピールしていました。

収穫されたサツマイモは焼き芋・スイートポテトなどの材料になり皆さんのお腹に収まりました。



聖愛園医務室 看護師

りませんが、体調をチェックし少しでも早期発見につながればと思います。体調に特に心配な方については、至急で検査結果をいただき、嘱託医に相談し診断・治療方針を伺う事も行いますが、全員の検査結果は一括して嘱託医にチェックしていただいています。

利用者の方々は、年齢を重ねられ外見からだけではわからない症状がひそんでいる事を常に心にとめておかなければなりません。これからの一人ひとりのケアを考える場合、心身の機能・健康度などが年齢層によつて大きな差が生じてくる為、少しでも早くキャッチし、支援スタッフへその情報を流し、ケアへと結びつけていただくよう心配りをしたいと考えます。またそれが看護師の役割の一つだと考えています。

# 施設間交流会

昨年十二月二十二日、旧丹生小学校の教室をお借りして風の丘、くすのき作業所、聖愛園の三施設合同のクリスマス会を行いました。

園から職員手づくりのクリスマスツリーやサンタクロースの衣装を持参し、雰囲気作りにも気を配りました。そのかいあつて他施設の利用者さんからもかぶりたいたいとリクエストがあり、みんなでサンタの帽子をかぶつてクリスマスを楽しみました。



みんなでクリスマスソングを合唱したあと、椅子取りゲームをしました。真剣な表情で集中している方もあつて、笑いあり、悔しさあり職員も思わず手を叩き大変盛り上がりまし

た。次にビンゴゲームを行いました。景品がもらえるとおつて皆さん真剣な表情でカードの数字を探し「あつたー」「リーチ」「ビンゴ」とその声にも自然と力が入ります。

最後にケーキとお菓子を食べて楽しいクリスマス会を終えました。

今後も施設間交流は、皆さんに喜んでもらえるような内容を考えていきたいと思ひます。

生活支援員 川邊真季

# 勢和中 中学生福祉体験学習

十二月十四日、十五日に勢和中学校の一年生五名（男子四名・女子一名）による福祉体験学習が行われました。

初めは緊張気味の生徒さんでしたが、利用者さんと一緒に歩行訓練をしたり、おしゃべりするうちに緊張もほぐれてきたようで、話もはずみ笑顔も見られました。食事の時間には、お茶配りや後片付けを手伝ってもらいました。



二日目の午後からは、「ふれあい活動」で中学生のリコーダー演奏や童謡の合唱、ボーリングゲームで盛り上がりました。利用者さんと中学生が和気あいあいとした楽しい時間を過ごしました。



「めちやくちや緊張した」「自分達の演奏や合唱が皆さんに喜んでもらえて嬉しかった」「職員さん達が優しく教えてくれた」などの感想文を書いてくれました。

中学生にとってこの体験が貴重な時間になったと思ひます。

サービスマネジメント 小林俊子

# スポーツ大会 に参加！

ツ大会に参加しました。

県内の障がいをお持ちの方々が参加されており、この大会で勝ち上がれば、全国大会へ出場できる大事な大会でした。当然、聖愛園も全国大会を目指して大会に挑みました。



平成二十一年九月十二日、伊勢市の陸上競技場で開催された障がい者スポーツ大会に参加しました。

で応援しているこちらにも感動を与えてくれました。

結果としては、全国大会の切符は逃してしまいましたが、利用者さんの競技へ参加された姿勢は全国レベルのものでした。参加された皆さま、本当にお疲れ様でした。来年こそは、全国への切符を勝ち取ってきたいです。

大会終了後、まんぷく食堂というお食事処にて、どんぶりパーティー

で大いに盛り上がり、楽しい打ち上げになりました。楽しい思い出ができ、充実した一日になりました。

生活支援員 松下将典

# フライングディスク競技大会



平成二十一年十月三十一日、三重県障害者スポーツ大会「フライングディスク競技」に参加してきました。

この大会は毎年津市で行われており、県内の知的・精神・身体障がいの方が参加されています。当日は秋晴れのよい天気で、とても気持ちよく参加する事ができました。

聖愛園からは五名の利用者さんが参加されました。参加者が決めた日から、余暇活動等を利用して、フライングディスクの練習をしてきました。その成果か、皆さん戸惑う事なく、中には他の参加者の方から「オオー」と歓声をもらう方もみえました。

昼ご飯は、コンビニで皆さんそれぞれ好きなお弁当を選ばれ現地で食べました。普段コンビニでお弁当を選ぶ事はないので、良い経験、気晴らしとなったようです。今後このような行事に積極的に参加して、皆で楽しい経験を積んでいきたいです。

生活支援員 田中秀人



# 事務室より

昨年の民主党への政権交代により、社会が大きく変わろうとしており、障害者自立支援法の行く末も不透明なものとなっております。



事務室として、発信された情報をいち早く正確に保護者の皆様にお伝えし、国・行政等との橋渡しをさせていきたいと思います。

今後皆様温かいご協力のもと、安心していただける施設窓口を目指していきたいと思っております。

ご意見、ご希望がございましたらお気軽にご連絡下さい。

事務員 朝田和子

# 念願の車庫が完成

昨年十二月、念願の車庫が完成しました。八台分の駐車スペースがあります。また園舎の周りの敷砂利だった箇所をコンクリート舗装しましたので、利用者さんの歩行訓練もより安全に行う事が出来るようになりました。



自平成二十一年七月十六日  
至平成二十二年一月十七日

（ご芳志ご芳名（敬称省略）

保護者会・武田スミヨ・村口喜代時  
水谷英男・西村郁三・本田敏  
世古高滋・(株)マルエイ

物品寄付ご芳名（敬称省略）

- 大谷勲・本多師子・水谷英男
  - 武田スミヨ・加藤八州和・山野弘子
  - 馬野すゑの・石川繁子・西多一郎
  - 中野久子・神廣かよ・伊藤福美
  - 松尾陸夫・西村郁三・世古高滋
  - 山川英彦・岩城央生・中野数見
  - 森田知恵子・小瀧とし・櫻尾智仁
  - 谷村勝美・中川和子・尾上薫
  - 堀内美志子・青木姫子
  - (株)西組・(有)大黒屋商店・小山(株)
  - 三光運輸(株)・(株)内金・藤井商店
  - (株)マルエイ・フリーフラワー
  - コスモ美容室・三重大学教育学部
  - 勢和中学校・伊勢シンフォニックバンド
  - 岡本祐真（神宮寺）・風の丘
  - 多気町老人クラブ連合会
  - 戸野幸廣・水品豊司・山口英子
  - 岩本実・山西稔・小椋悦生・石橋暁美
  - 伊藤江理子・坂口美恵子・三田友子
  - 戸野和雄
- （他にも匿名で品物を頂戴しております。）